

東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会
第2回報告会開催のお知らせ

委員長 真野 明 (東北大学)

「東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会*」は、大震災に伴う調査研究によって「被害状況の精査」と「社会貢献」の実現を活動の重要な柱としています。

当面、今必要とされているいくつかのテーマに関して部門横断的な視点に立って指針を示すべきと考え、今回は「津波浸水被害と町づくりの問題」・「造成宅地の問題」・「ガレキ処理の問題」の3つにしぼって第二次報告会を開催することといたしました。多くの皆様の参加お待ちしております。

記

「東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会第二次報告会」

日 時：平成23年7月1日(金) 13:00～16:30

場 所：ウェスティンホテル仙台 『竹』
(〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 電話 022-722-1133)

定 員：先着500名(定員に達し次第締め切ります)
※定員に達しご参加いただけない場合に限り、ご連絡いたします。

参 加 費：無料(ただし、別途配布資料代1,000円を申し受けます)

申 込 方 法：E-mailまたはFAXで受付します。(※特定の申込用紙はございません)

E-mail (jsce-th@luck.ocn.ne.jp)・FAX (022-222-8509)

・氏名、連絡先(勤務先・電話またはメールアドレス・所属学会等)を明記のうえ、お申込ください。

・東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会構成学協会の会員・非会員問わず、どなたでも参加いただけます。

プログラム：詳細が決定次第、ホームページ掲載またチラシ等でご連絡いたします。

ホームページ (http://www.i-1.co.jp/jsce_shinsai/index.html)

*東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会

公益社団法人土木学会東北支部、公益社団法人地盤工学会東北支部

社団法人日本地すべり学会東北支部、社団法人東北建設協会

公益社団法人日本コンクリート工学会東北支部、社団法人日本建築学会東北支部

社団法人日本都市計画学会東北支部準備委員会

「東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会 第二次報告会」

プログラム（案）

13:00-13:05 開会の挨拶

13:05-14:05 (1) 津波浸水被害と町づくりの問題について

- ・「2001年東北地方太平洋沖地震津波による被害」

真野 明（東北大学，土木学会）

- ・「津波安全とまちづくり」

相羽 康郎（東北芸術工科大学，都市計画学会）

- ・「津波に強いまちづくりに有効な家屋の構造」

田中 礼治（東北工業大学，日本建築学会）

- ・質疑応答

14:05-14:15 休憩

14:15-15:15 (2) 造成宅地の問題について

- ・「造成宅地の被災状況と被災への対応」

飛田 善雄（東北学院大学，地盤工学会）

風間 基樹（東北大学，地盤工学会）

- ・質疑応答

15:15-15:25 休憩

15:25-16:25 (3) がれきの処分と有効利用

- ・「がれきの処分と有効利用の考え方」

久田 真（東北大学，日本コンクリート工学会）

- ・「処分と有効利用技術の現状」

吉田 明（大成建設，土木学会）

- ・「有効利用を進める上での課題」

金内 剛（東北建設協会）

- ・質疑応答

16:25-16:30 閉会の挨拶

*講演題目および時間は変更の可能性があります。